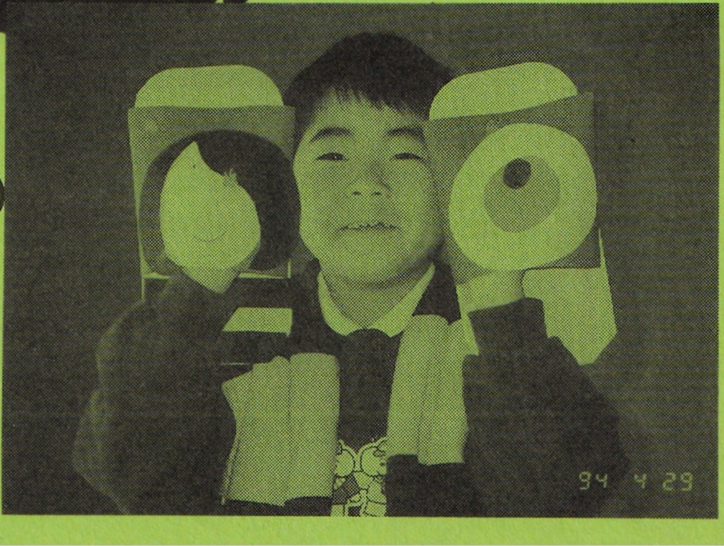
フロッ

第35号



別冊付録
『火星人がやってきた』

今月のラッキーボーイ☞



必ず読んでくれ！

業務連絡

○えー、フハッ増刊の２冊「幸治亮の音信不通」と「水木しげるロード大特集」は完成しておりますが、２、３の会員の方より戴いたお手紙によれば、無料で送られてくると、勘違いなさっておられる方もいますようで、いや無料というよりこの２冊が会費内に含まれていると思っていたのでしょう。えぇ、申し訳ございません。この２冊は有料になっているのです。どうして勘違いなさったのか？もう一度、フハを読み直したところ「これでは勘違いしても仕方の無い文章でした」これは我々のミスですね。本当にご免なさい。まだ在庫はたっぷりあるので今からでも遅くはありません。申し込んで見てください。

フハッ増刊『幸治亮の音信不通』

§Ａ５版、４４ページ　送料込み５００円

フハッ増刊２/水木しげるロード・大特集

§Ａ５版、５２ページ　送料込み６００円

・・・・・・・・・・・・・・・・お求めは・・・・・・・・・・・・・・・・

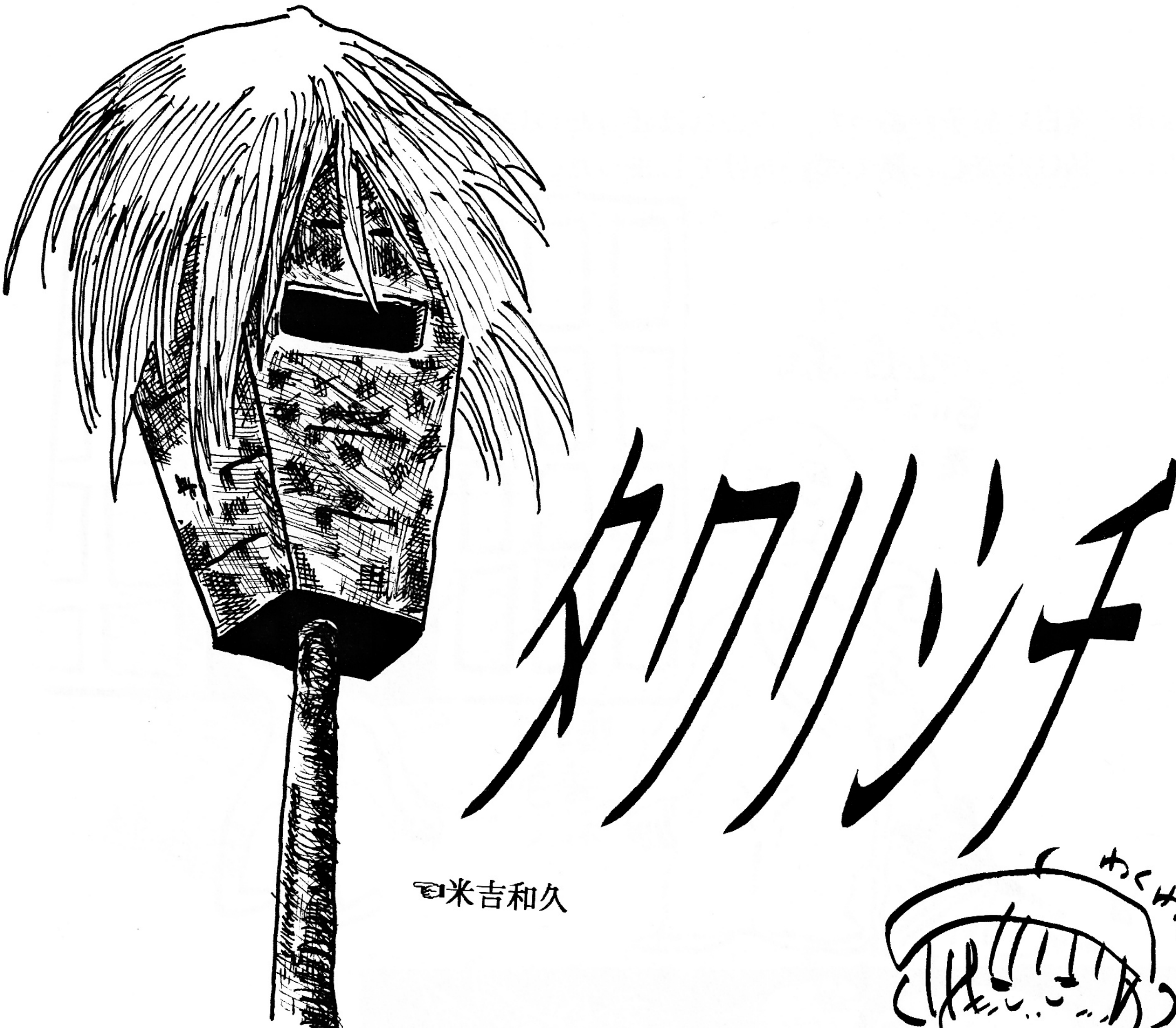
以上の商品は切手でお求めになれます。従来通りの定額郵便小為替、現金書留でもお求めになれますが、近所の煙草屋でも買える切手での御購入をお勧めします。だっていちいち郵便局に行くの面倒でしょう??

〒６５４−０１
神戸市須磨区北落合３丁目３８番地２１７−７０９
馬場方　水木しげるＦＣ・水木伝説

↙吉田良恵



ヨギおばば



☞米吉和久



フハッ　（33号 34号）　佐藤恵津子

とどきました

サマーイベント楽しそうですネ、アンケートを出そうと思って気がついたのですが、私の会員№は何番なのでしょうか？

封筒もよく見たのですが書いてありません。次号の新入会員紹介までは、わからないのだろうか…　それは、あせらんとこう。ところで

自由欄に鬼太郎の背に乗って空を飛ぶ夢を描きましたが、もっと不思議な夢も、見ているのでそれを書きます。

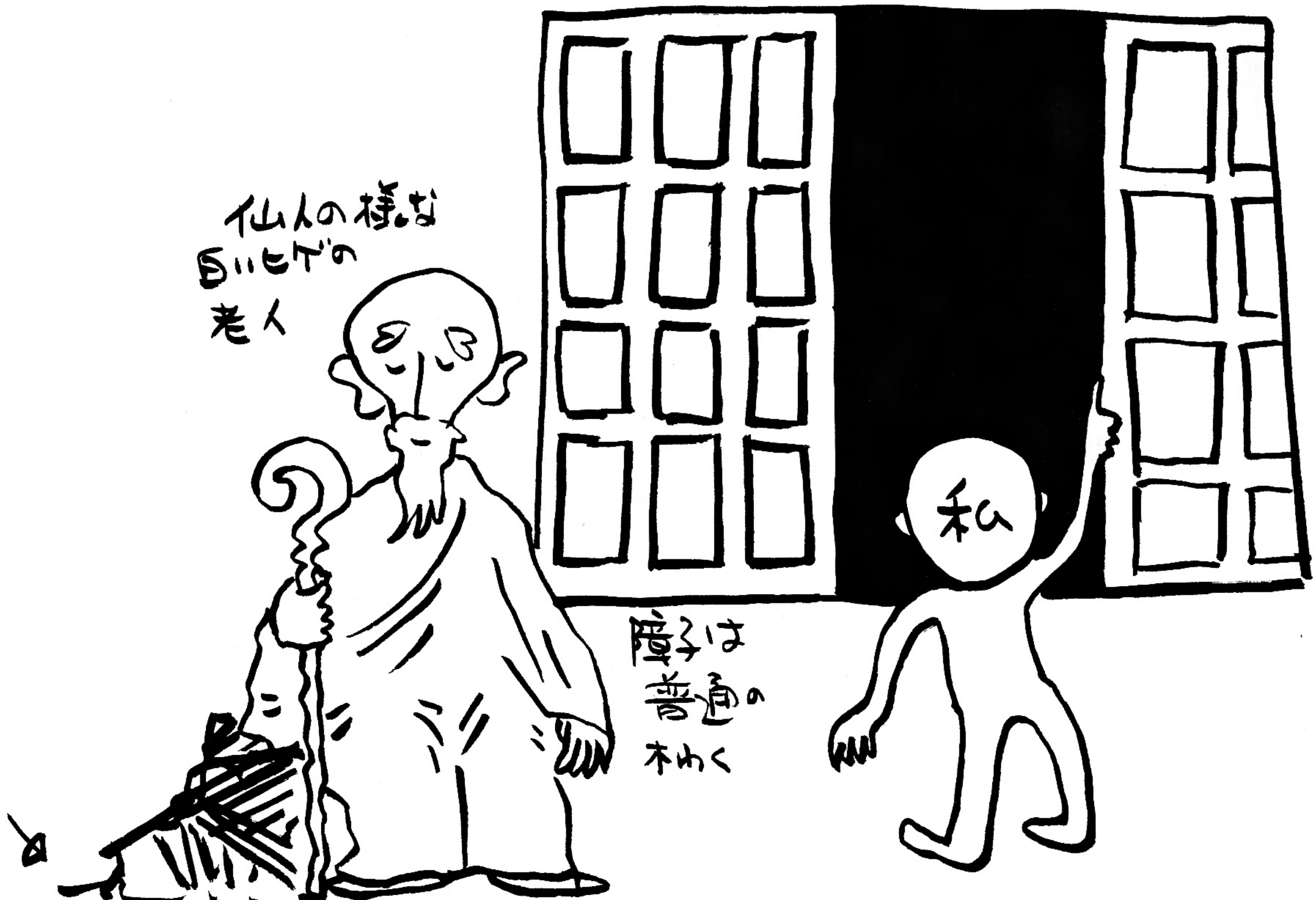
（どちらの夢も、7、8年前のものですが　くっきり　はっきり記憶にのこり消えません）

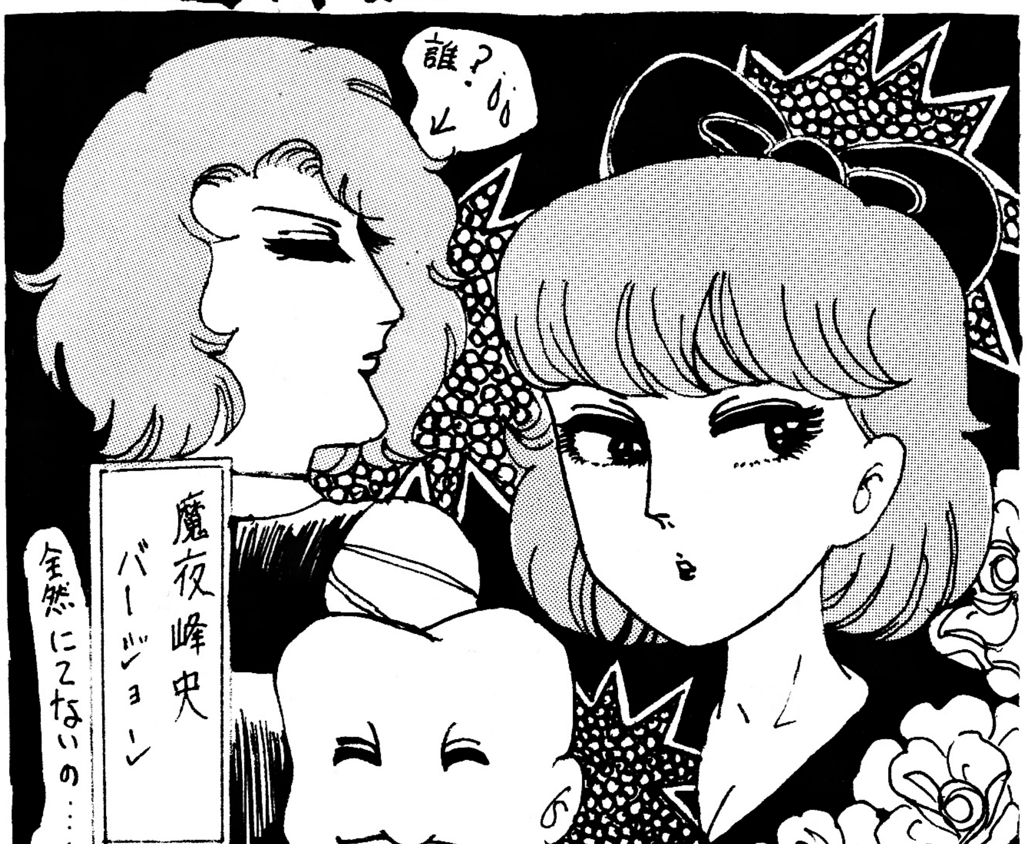
私が見た夢　その2、

いつもの様に鬼太郎たちと楽しく遊んでいた。（海のようだ、季節は冬か秋）

“おもしろい所へつれていってあげる”と、鬼太郎がいった。そこは、すごくキレ

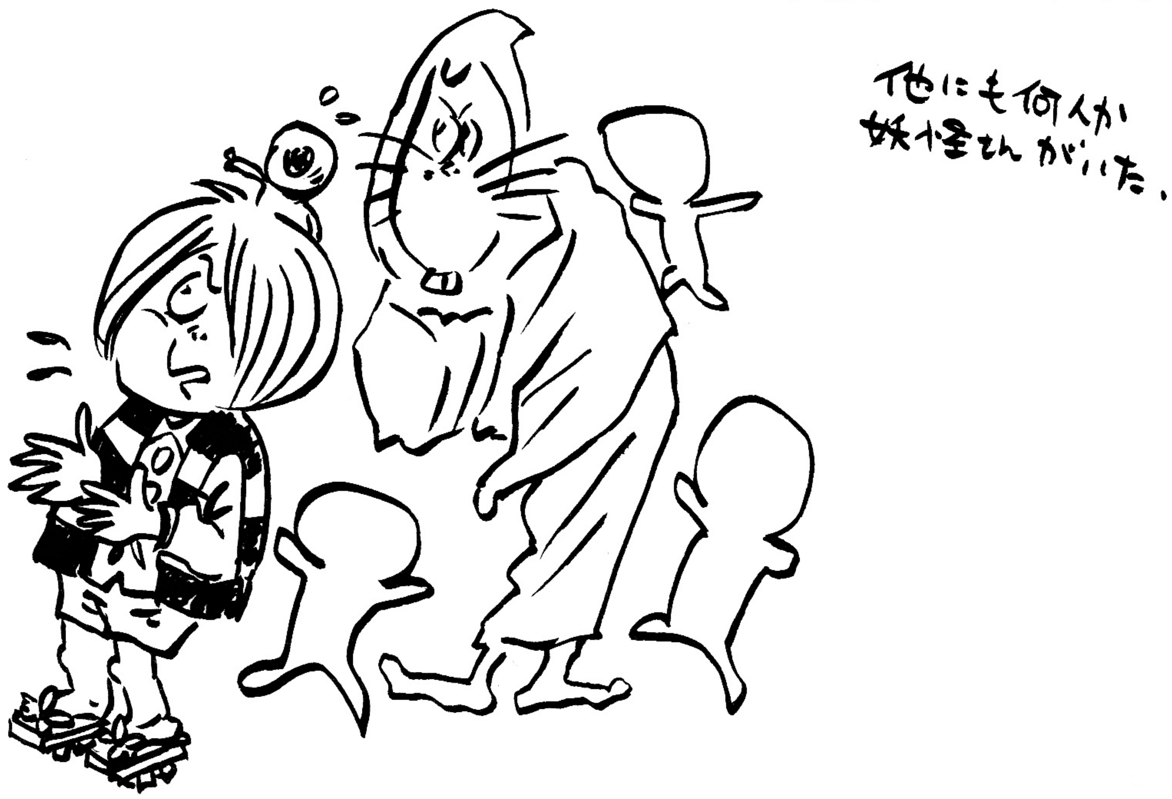
イな所で真白い障子があった、“これはぜったいに開いてはいけないヨ”といわれたのに、私は好奇心に勝てず、あけてしまった。





←No.２６　笠井友紀子

すると、真っ黒いなにか、闇そのものがうごめいている様な恐ろしい風景が…あわてて私は障子を閉めた。その間、ずーと、もの静かな老人が横に座っていた。（目がさめた時　心臓がドキドキしていたのだ、恐わかったのだろう）



『妖精美術館』

Ｎo.８３　影山ＹＯＳＨＩＫＩ

私の家は読売新聞です。1993、9、11　新聞の地方らんに「妖精美術館18日オープン」の見出しをみつけました。

「いよいよできるか」「'92サマーイベントで水木先生が“こんど妖精美術館つくるそうなんですけど　あんなアブの多いところはいかんですよ”なんて言ってたな」などと思いながら記事を読んでいると「18日は開館式が…井村さんのほか…荒俣宏さんらや水木しげるさんも訪れる」（同じ日の新聞「福島民報」には“水木しげる”という文字なし）の記事。

とりあえず行ってみました。

妖精美術館では当日のセレモニーの準備で忙しく、展示されているものはよく見れなかった。なかなかキレイな建物だった。

水木しげる先生いらっしゃいました。（井村さんたちとジュースもしくは酒のんでいた）。私はきてよかったと満足し、美術館をウロウロしていると「'93サマーイベント」に取材にこられた足立さんと会いました。（このとき足立さんの名前、思いだせずにあせった）

足立さん「ああ、どうも。来たの」
　私　「来ました。福島ですから」
足立さん「もう挨拶したの」
　私　「とんでもないですよ」
足立さん「だめだよそれじゃあ。行きましょう」
　私　「はぁ」
私と足立さんは、階段をのぼり、水木先生のいらっしゃる部屋へ。
足立さん　「こちらフハッの人です」
水木しげる「あぁ、フハッの」
足立さん　「このまえフハッのイベントにも来てたんですよ」
水木しげる「はぁ、どこですか（出身は）」
　私　　「福島です」
水木しげる「あぁ、フハッの人は神戸ですよね。神戸が多いんだ。はぁ福島にもいたんですか」
　私　　「いたんですよ」
水木しげる「なんか いま何人くらい いんのかな。なんか１00人ぐらいいるらしい。タイヘンなもんです。オドロキですよ」
　私　　「はぁ」
　そのあともセレモニーが始まるまで足立さんと水木先生のそばにくっついてました。足立さんは ず～っと質問てしいました。
　以下、私が聞いた水木しげる先生のおコトバです。
（二人の話を立ち聞きしただけに、正確ではない）
○（このイベントについて）
　「前日まで分からんかった。ホントに急だった」
○（この美術館について）
　「ぜんぜんもうからん」
○（イベントの段取りについて）
　「さっぱり分からんですよ」
○（前日まで分からなかったことについて）
　「オドロキですよ」
○（１室に水木しげる先生が美術館におくった絵画があり、その絵について）
　「女房が惜しがったんですよ」
○あと 水木しげる先生がイスを手でたたくと、ホントに「トン」という音がするのにはビックリ。
○（セレモニーが始まるため、人々が外にではじめ、水木先生も外にでなきゃいけ

ないんじゃないの、と思っていると）
「こういうときは動かんほうがいいですよ」
○（何を思ったのか急に）
ここのトイレはいいですよ）
スピーチは疲れたのか短めでした。
このイベントの感想としては、まぁまぁといったところでした。
が、私はもう満足でした。

このイベントのパンフレット送ります。
🎀会員の方にプレゼント🎀

〒654－01
神戸市須磨区北落合3丁目38－217－709
水木伝説・「妖精美術館」パンフ、プレゼント宛まで

みずきでんせつをよんで

いちねんいちくみ　ささき　たかし

悪魔くん　「市販されている実写の本は『世界のよう怪100話』だけ」と、ありますが、同シリーズの「悪魔くんの　悪魔なんでも入門」は？（自分の子供に‘悪魔’と名付けた佐藤さん夫婦、でーもん佐藤さんの身内の方ですか？冗談っス）

ムーラちゃん　懐かしいー。本当の事言うと「まめだぬき」しか読んだ事ないんですケドね。でもキンタマを喫茶店に見せ掛けるとか、ムーラちゃんのソーセージが美味しそうだとか「人口衛星のように飛んでいく」とか言うセリフは鮮明に覚えていた。

ねずみ男　これは別紙に書きました。しかし豪華ですねー。これじゃクレーム来ますよ。今度は梅田氏に突撃インタビューだ！無理かなぁ…。後、「ねずみ男の母親がねずみ男族なので父親が人間」と、ありますが、ねずみ男族自体が半よう怪なのでは？

よう怪百物語　これまた豪華ですねー。ねずみ男で懲りてなかったんですね（冗談っス）しかし斎藤さんのイラストはスゴイ！さすが水木プロに就職するだけの事はあります。僕は水伝の表紙は水木先生の作品だとばかり思ってました。今度、見返しイラスト、パクる予定です(マジ)

子供の国　凡例では第二弾を編集する気はサラサラないとの事ですが、今度はメガネ出っ歯のサラリーマン（庶民）の特集だ！（多すぎてまとまんないって…）



現代民話考モドキ

現代民話考モドキ

①

空飛ぶ円盤事件録(日本編)

2 空飛ぶ円盤をつかまえた事件

1972年8月

われわれは、空飛ぶ円盤はあるていど大きいものと思うのがふつうだ。しかし、こんな事件が起きている。その空飛ぶ円盤は、直径が一八・五センチメートル、高さ一〇センチメートルというおもちゃのようなものなのだ。

この空飛ぶ円盤は、中学生たちにとらえられては逃げ、またとらえられて……をくり返した奇妙なしろものだ。

場所は、高知県高知市の東にある介良村。

八月下旬、介良中学校の瀬尾さんと森さんは、近くの田畑の上を、小さな空飛ぶ円盤が飛びまわっているのを見つけた。しゅん間的にあちこちと動き、青い光をはなっていた。

その後九月にはいり、中学生たちはついにこの怪物体をとらえてしまった。そして重さ(一・五キロ)や大きさをはかった。表面は全体的にぶくかがやき、ざらざらしていた。裏には何ともわからない絵が見えた。

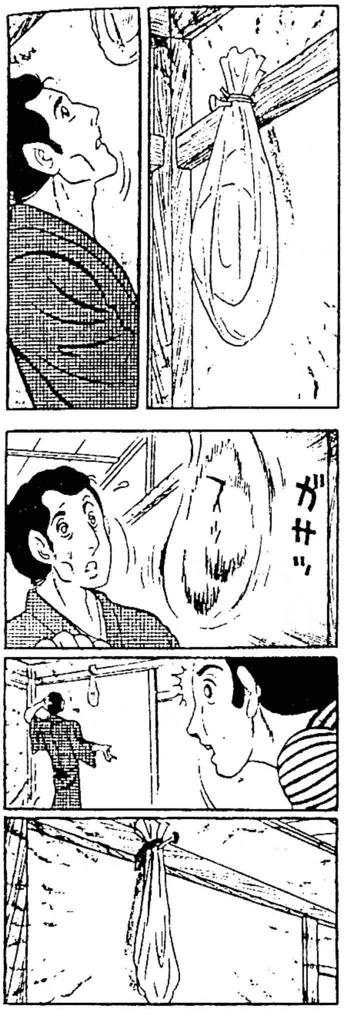
中学生のひとりが、ナップザックにそれを入れて持ちかえろうとした。光は袋の外にまでボーッとすけてきていた。ところが、この空飛ぶ円盤は、とじたナップザックからいつの間にか消え去ってしまって、またあとでとらえ、ビニール袋に入れておいたが、やはり消えてしまった。

怪物体の底には、四角い一枚板がはめこまれていて、小さな穴がたくさんあいていた。この穴に水をつぎこんだところ、ジージーという音が聞こえてきた。

また、その穴にエナメル線を通して、手でぶらさげると、とつぜん四角い板のそとがわの丸いふたがゆっくりとあき、何やら複雑な部品をのぞかせた。

この不思議な物体は、中学生の親たちも観察している。しかし、確かな写真もとれぬまま、逃げさられてしまったのは残念だった。





今回は題して
『ひぇ〜っ!SFちっくにらんらぷう♡』
を、おおくりします。
まず、①のコピーを読んでくだされ。これは「追跡推理・空飛ぶ円盤」(立風書房おくづけがないので、詳しくは不明)に、のっていたものです。
次にこの文章を読んでくんろ。

参 金霊(かねだま)

「カネダマ」の好きな人は多い。「カネダマ」が出ていった家は滅び、落ちた家は栄えていくという。「カネダマ」はうなって飛んでくるというが、東京の足立区のある家に「カネダマ」が飛んできて、その家の裏の薮に落ちたら、それからその家は栄えたのだそうだ。

文政八年(1825)にも「カネダマ」の話がある。春三月、房州(今の千葉県)朝夷郡大井村の丈助という百姓が朝五時ごろ、苗代を見にいったときのことだ。ここかしこと、ぐるーっと見ていると、青天に雷のようなものが響いて、どうやら五、六間(約10m)後のほうへ落ちた。丈助はおどろきながらもそこへ行ってみると、穴があいている。手ぬぐいを出してその穴をふさぎ、おさえてまわりを掘りかかると、五寸(約15㎝)ほどの深さのところに輝く鶏卵のような玉があった。これこそ噂にきくところの「カネダマ」であろうと、急いでわが家に持ち帰った。そして、今日はからずもこのような名玉を得たと人々に見せると、「これはまさしく「カネダマ」である。」と、見る人見る人みな、羨望のまなざしを向ける。丈助も喜び、いよいよ秘蔵のものとした。

この丈助は日ごろ正直なるがゆえに、このような恵みを得たのだと、『兎園小説』の中には書かれている。

「カネダマ」は金の気であるといい、唐詩にも、

不食　夜　識　金銀気　(食らずして、夜、金銀の気を識る)

とある。

ぼくは偶然、五、六歳のころ「金霊」をみた。屋根の上で寝ていると、地震がおきたのでハッとして空を見上げると「十円玉」みたいなものがとんでいる。ぼくはそれを見てから、地震のときは「十円玉」が空を飛ぶものだと思っていた。

これは水木センセの妖怪図鑑㊦にのっていたものです。ちなみに、ここにはのってないですけど「金霊」って、この後いつのまにかいなくなっているんですよネ。ね？この二つの事件って似てるっしょ？「金霊」ってこの小型ＵＦＯだったんじゃない？。それにセンセの見た「十円玉」っていうのもＵＦＯだったんじゃあ…。う〜ん、ＳＦちっく。

佐々木卓



逃げる!!

消える…

◀円盤の着陸したあと。

円盤をとらえ…

■1972年9月
高知県／介良事件

日本の目撃①

▼直径18.2センチ重さ1.3キロ
金属でできていた!?

▲少年たちの証言にもとづいて作った円盤（林一男氏製作）

「あれっ、へんだなあ、コウモリかな？」

一九七二年の九月、高知市介良の中学生、瀬尾道雄君が学校から帰る三時ごろ、田んぼの上をおかしなものが飛んでいるのを発見した。その日の七時すぎ、瀬尾君は友だちの森保夫君、その兄の裕詞君、それに小島慶君たちといっしょに、もう一度確かめに田んぼまで行った。

"いたっ!!" なにか光る物体がフラフラと飛び、見ているうちにそれは、土の上に着陸した。勇敢な森裕詞君がその物体の二メートルほどそばに近よると、光らなくなっていた物体は、急にまた青白く光りだした。四人はびっくりして走って帰った。

つぎの日、その場所に行ってみると、そこには小さな穴が四つあいていた。どうも、円盤の着陸の跡らしい。

この事件がきっかけになって、瀬尾君は、それからも、いろいろな友だちをつれて、現場へ何回か行ってみた。そして、三回ほど目撃!! 一度は写真にまで撮った。しかし、そのフィルムを現像してみるとボーッとしたものが写っているだけだ。

九月一五日、友だち三人と現場をおとずれ、ついに、謎の物体をつかまえることに成功した!!

直径一八・二センチ、重さ一・三キロの物体は、銀色に輝き、ぶんちんやかなづちで力いっぱいたたいてもビクともしないほど固い金属でできていた。また、下にあいている穴に水を入れると、ジー、ジーというセミの声のような音がし、ナップザックに入れておくと、ボーッとした光を発して、とても気持ち悪かった。だが、なかでもふしぎなことは、しっかりと口をとじたナップザックに入れておいても、この物体は、いつのまにか消えてしまい、夜になると、いつもの田んぼにフラフラと浮いていることだった。こうして六、七回もつかまえただろうか。

九月の終わりのある日、今度こそ逃げられないように、物体を二重にしたビニール袋に入れ、その口をしっかりとじた。そして、電気コードで十文字にしっかり縛り、コードを森保夫君の右手に結びつけておいた。そして、森兄弟、藤本恵功君、東山郁男君の四人で、自転車に乗って東山君の家へむかった。

ところが、藤本君の自転車の荷台に乗っていた森君は、右手に急にショックを受けて自転車から落ちた。驚いて、みんなが近づいてみると、すでにビニール袋のなかの物体は、姿を消していた。二枚のビニール袋の口も、しばっておいた電気コードの結び目も、そのままだった。

そして、それからというもの、物体は少年たちの前に二度と姿を現わさなかった。なんの科学的調査も行なわれず、はっきりした写真も撮ることができないままだった。

この事件では、あまりはっきりと写っていない一枚の写真をのぞいては、何ひとつ証拠が残っていない。しかし、九人の少年たちに会ってくわしく調査した人たちは、みんな口をそろえていっている。

「九人がグルになってうそをついているとは思えない。まったく信じられないようなふしぎな事件だが、本当にあったとしか考えられない。」と。

▲底の穴から水を入れると、ジージーとセミの鳴くような音がした。

『日東・妖怪プラモ』メモ

(その1)キジムナー・しろぼうず(「妖怪ヤンチャ倶楽部」)

No./22

柳葉蛙



前シリーズの「妖怪系図」シリーズが終止符を打った後、登場したのがこの「妖怪ヤンチャ倶楽部」です。前シリーズがどちらかといえば“リアル志向”で「あずき洗い」以降はジオラマ・キットになるなど、どちらかといえば、“通”向きであったのに対し、こちらは愛らしい妖怪を選び、パッケージもコミカルにするなど、“女の子”にも受けるようなつくりになっています。そのためか、今日でもモデラーの間で

は、「妖怪系図」ほど高い評価はないようです。（絶版キット専門店でも「妖怪系図」なら高く買うが、「妖怪ヤンチャ倶楽部」はいらない、あるいは定価以下ならかうといった感じだそうです。）

このシリーズの欠点は“ダボ”をつけなかったところでしょう。この“ダボ”（ポッチリともいう）はパーツをあわすための凸凹で「アラレちゃんシリーズ」をはじめ、対象者が年少の場合のキットには、たいていつけられているもので、接着剤なしでも手軽にくめるという長所をもっています。ただ上級者になるとこの“ダボ”がキットをよりリアルに組む上でかえって邪魔なものになりますので、けずり落したり、また、こうした人たちを対象とするキットには、はじめからつけられていないものがほとんどです。

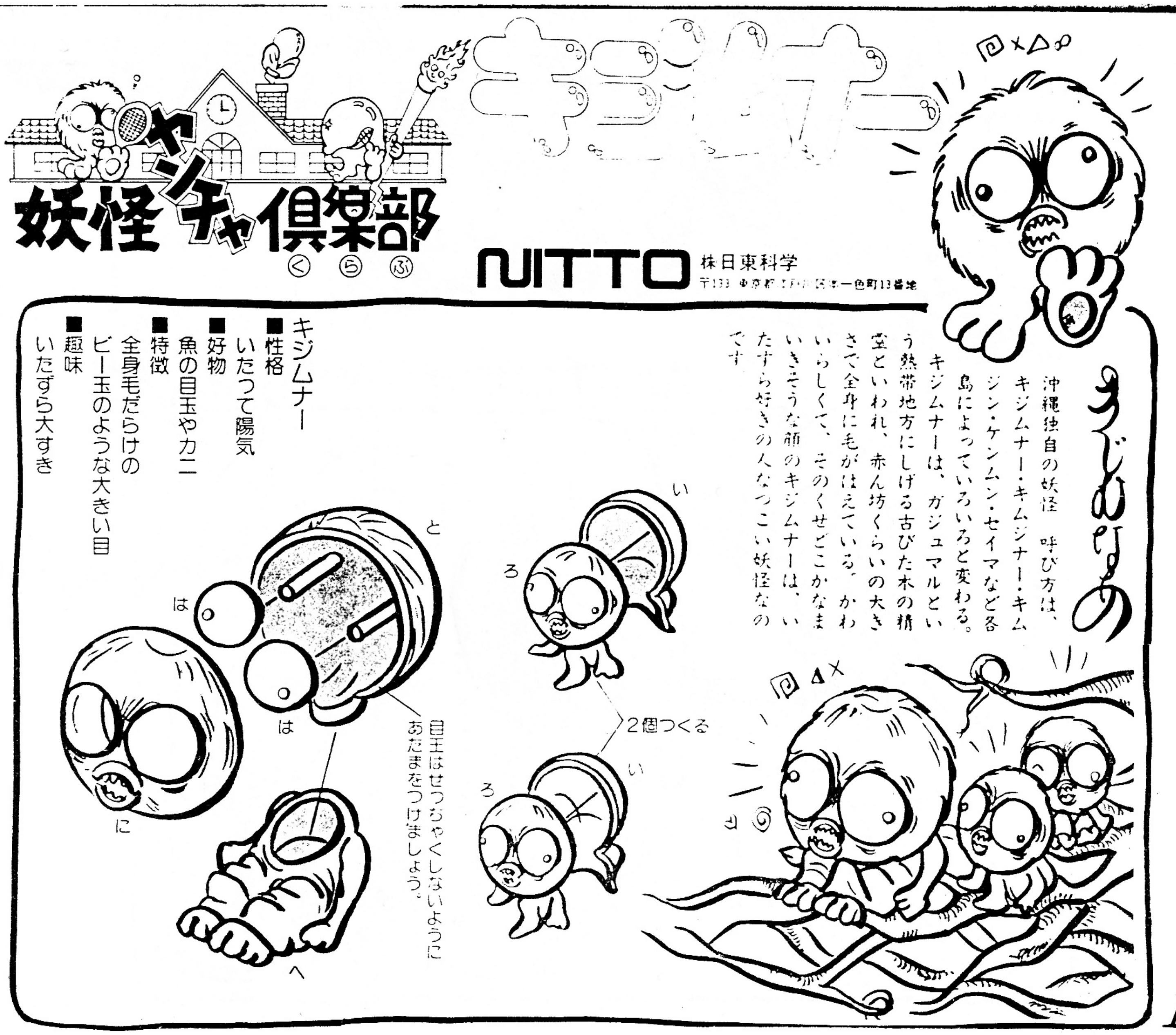
「妖怪ヤンチャ倶楽部」の場合、パッケージはあきらかに年少者や初心者を意識したそれになっているのに、キットは上級者向けのものであり、かつ、モデルは“かわいらしさ”を強調したものなので、年少者が購入して組み立てるには、高度なテクニックを必要とし、上級者が購入するのには、あまりにも“子供向け”のものであるというところに、もう一つウケなかった理由があるように思います。

人気があれば、「べとべとさん」も「つるべ火」も世に出ていたのかもしれません。

次にキットの紹介に入りたいと思います。

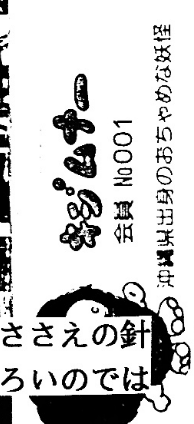
①、キジムナー

“大キジムナー・小キジムナー二匹？”（“中キジムナー”はいない）の三匹セット。“大キジムナー”は目玉がくるくるまわります。大きさはこの説明書イラストとほぼ同じ大きさです。





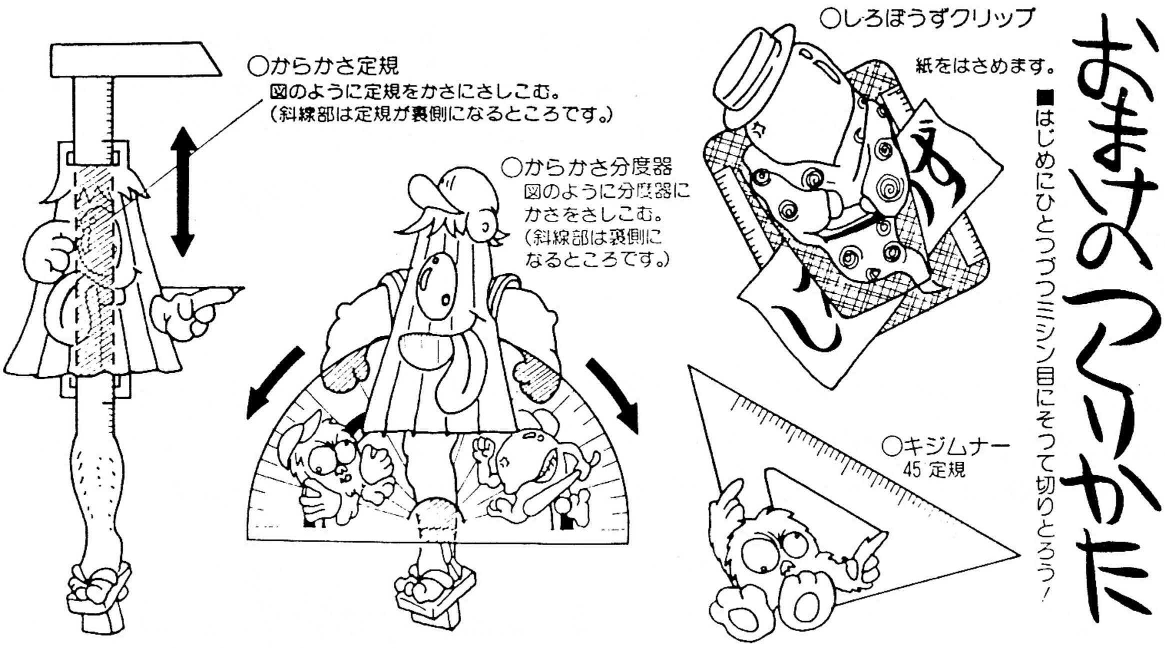




②、白ぼうず

"頭"のふうせん?と胴体が別パーツになっています。なぜか「タヌキ」がついています。このキット、「ふうせん」部分の内を薄く削って、塗装したタヌキとムギ球を入れ、胴体からささえの針金へとコードをはわせて台の部分に電池をしこめば、光るたびにタヌキがうきあがっておもしろいのではないかと思い、キット二つ買いました。(一つは改造に失敗した時の予備です。)改造のしかたは説明書イラストにかき加えてみました。





③　おまけ妖怪文具、妖怪ステッカー



「妖怪ステッカー」の方はランダムに２種組みあわされています。

（私のもっていないのは、1、5で、あとはみなもっています。（2＋8）が一番多いようです。）
妖怪の名前をしゃれにしたネーミングで、これまたコミカルで愛らしいイラストのものです。大きさはこのコピーの約２倍です。

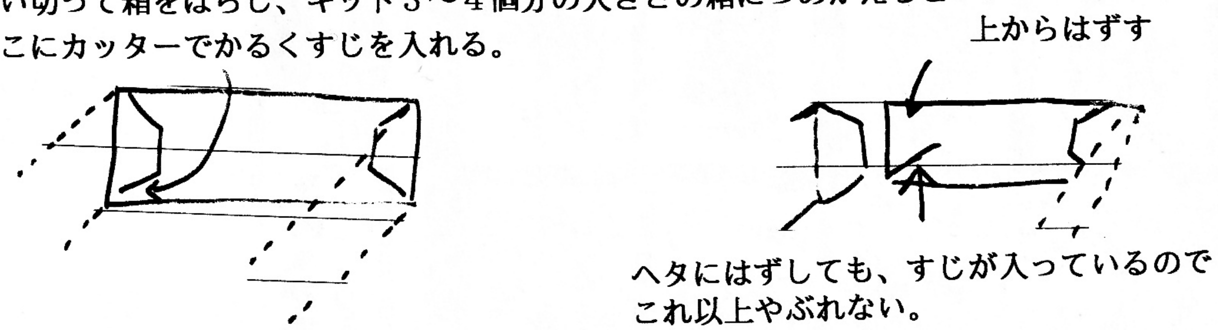
文具の方は　分度器＋クリップ、　定規＋45°　定規と組合せが固定しており、分度器と定規は組み立て式になっています。
（しろぼうずの説明書参照）

◎　　　◎　　　◎　　　◎

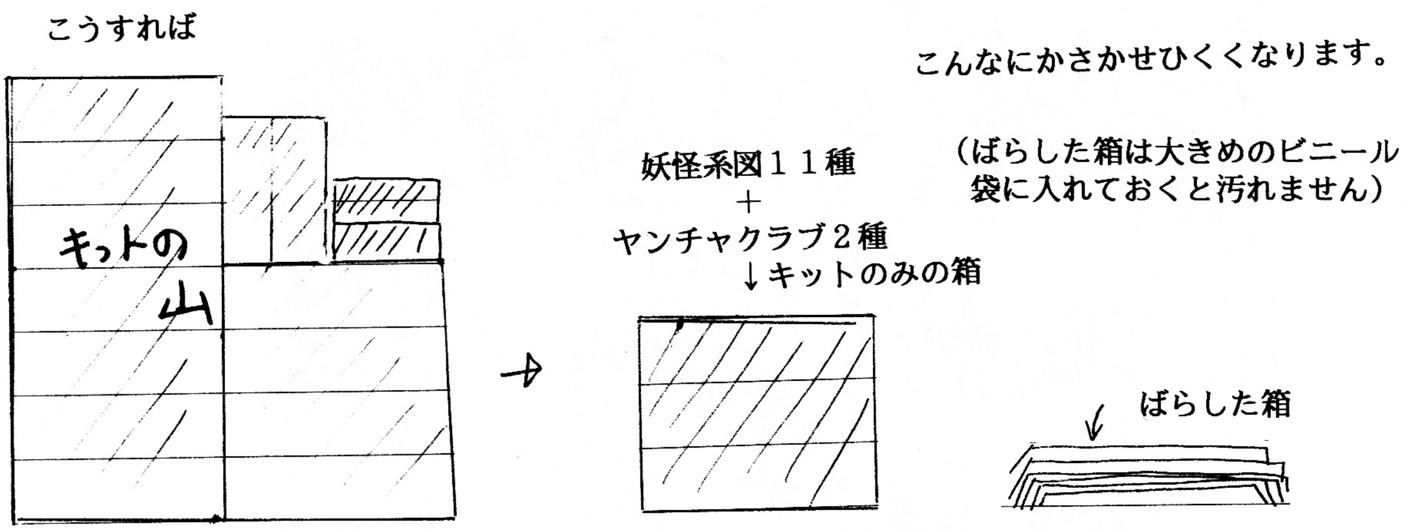
なんか走り足の説明になってしまいました。
柳葉蛙はこの四月、キセキ的にも大学院生になりましたが、これが思ったより大変で、今のところ家にかえるやいなや伸びている状態です。合格したら禁プラとけるかなと思っていたのですが、現実はキビシイです。

プラモデルか３０㎝キットか
↓
次回は「からかさ」と「油すまし」（どっちのコピーにしようかとまよっています。）の予定。

〈ひと口メモ〉
この「妖怪系図」にしろ「妖怪ヤンチャ倶楽部」にしろ、中身の割には箱が大きく、そのため意外にも場所をとりますが、３分の２以上が空気分です。（つまりスカスカの状態でキットが箱に入れられている）
思い切って箱をばらし、キット３～４個分の大きさの箱につめかえるとコンパクトになります。
ここにカッターでかるくすじを入れる。



この日東キットの箱にちょっと力を入れるだけでかんたんに接着をはずすことができます。（はずし方のこつは上図参照のこと）



まあ、コレクターなら、こうするのはちょっとたえがたいかもしれませんが、蛙はみんな組み立てるつもりなので、こういう風にしておいています。
（箱は早めにつぶしてビニールに入れておいた方が、かえって汚れなくてよいです。また、パッケージイラストは額などに入れてやると立派な複製原画になりますよ。）

水伝夜話

ブリガドーン'94

申し込み＆案内書



〔恒例！水木ファンの集い〕

【イベント初心者の為の公開質問状】

あなたの疑問に、親切丁寧、マジメに（？）お答えする　Ｑ＆Ａ

Ｑ　参加してみたいのですが、知らない人ばかりでしょ？
Ａ　はい。でも同じ水木ファン、すぐにうちとけて話せるようになります。毎回、初参加の方がおられますが、いつの間にか皆さん十年来の友人のように楽しくやっています。それに常連や顔見知りの連中は、スタッフの玩具にされるので、初参加の方が安心して楽しめます。

Ｑ　水木伝説はおろか、水木ファンも初心者の私ですが、参加してもよろしいのでしょうか？
Ａ　もちろん、ぜひとも参加してください。スタッフの中にも大して詳しくない奴もいます。編集長なんて、特にイイカゲンです。別に、マニアックな話ばかりするわけでなし、むしろオークションなどでは、持っている本の少ない初心者の方が楽しめると思います。

Ｑ　土曜日に仕事（学校）を終えて参加したいのですが？
Ａ　はい。仕事、学校に限らず交通の都合上、どうしても集合時間に間に合わない方は申し込み用紙に希望時刻を記入の上、スタッフに相談してください。

Ｑ　遠方から参加します。神戸近郊の交通に不案内なのですが？
Ａ　はい。例えば、大阪空港をご利用の方などは、空港バスの到着場所に、スタッフを手配するなどして迷わないようにします。ともかく、何でも相談してください。

Ｑ　若者の家はどんな所ですか？
Ａ　神戸の中心地より、車で20～30分位走った山の中にあるキャンプ場です。テントを張って半合炊飯もできますが、今回は畳敷きの道場やベッドのある部屋、冷蔵庫もガスも使える炊事場などを利用します。周りは緑に囲まれ、空気は美味しい。（よくある決まり文句）トイレは和式で、いわゆるボットン便所。時々おつりがきます。お風呂はありません。近く（？）の平野温泉へ温泉ツアーで行くことになります。温泉の入浴料は参加費には含まれていません。温泉といっても入浴料は普通の銭湯と大して変わりません。蛇、蝮、熊、猪等がでるという話（管理人の）ですが、過去四回開催して今のところ一度も見ていません。しかし、山奥ですので蚊なども少し（？）います。用心に越した事はないでしょう。水は、蛇口はありますが出てくる水は貯水タンクから出てきます。手や顔を洗ったり、うがいしたりは出来ますが、飲むことは出来ません。また、一人当りの水の使用量が決まっていますので、無駄使いをしないようにしてください。（もっとも、一人だけ水浴びをしたり、しなければ十分すぎる量です）食事は、元シェフのスタッフが作りますので安心してください。

Ｑ　オークションに持ち込みたいものがあるのですが？
Ａ　今年のオークションは、過去最高の出品数で、かなりイイモノも何点かあります。それらの品物はほとんどスタッフが集めたもので、オークションの時に、二束三文の値段で売るのを目的としたものです。あなたの持ち込む品物が、めずらしい貴重なもので利益を期待してオークションにかけるのなら、必ず落札されることはありませんから、然るべき業者に持ち込むことをお薦めします。水木伝説のオークションでは、いらない物ダブっている本を叩き売りする気持ちで持ち込まなければ、絶対に売れません。神戸の山奥なんかに、大金を持ってくる人はいませんからね。みんなで楽しくやりましょう。

Ｑ　自分の同人誌を持ってきて、販売したいのですが？
Ａ　はい。そのような方は申し込み用紙の欄に記入してください。オークションの方も同様です。ただし、同人誌を１００冊も持ってきても参加者は沢山いませんから、重たいだけです。イベント前日にでも、参加人数を問い合せることをお薦めします。

Ｑ　女性一人で……、子供と一緒に……、夫婦で……参加してもよろしいのでしょうか？
Ａ　はい。全く問題はありません。スタッフには女性もいます。スタッフには子連れもいます。スタッフには夫婦……は、いないけれどぜひ参加してください。ちなみに個室はありません、アシカラズ。また、小中学生会員の付き添いで、ご両親が来られてもいいですし、子供を預けて、有馬温泉で一泊するのも美味しいかもしれません。これまた、スタッフに相談してください。

Ｑ　皆さんにお土産を持っていきたいのですが？（あくまで、洒落ですよ……シ・ャ・レ）
Ａ　はい。たいへん結構な心がけです。……が、あまり喜べないものはやめてください。例えば御当地テレホンカードや絵はがきセット、キーホルダーの類は不可。みんなで分けられる食物がベスト！　北海道なら毛蟹。沖縄はパイナップル。長野は信州そば。新潟なら、やはり国産米を用意しておくべきでしょう。（あくまで、洒落ですよ……シ・ャ・レ）

※　その他、わからないことは何でもスタッフに聞いて、ふるってご参加してください。

申し込み＆問い合わせ

〒654－01　神戸市須磨区北落合3丁目38－217－709
馬場方『水木伝説ブリガドーン’９４』係
☎０７８－７９２－９６５７

水・伝夜話

ブリガドーン'94

今年もじめじめした梅雨がやってきました。しかし、梅雨が終われば楽しい夏です。夏といえばサマーイベント！ 今回は、サマーイベントで親しまれてきた開催名を改め「ブリガドーン'94」として行います。（タイトルは毎年変わると思う）

今年のイベントは、先にアンケートを取るなど気合を入れて準備をしてまいりましたが、今年の夏は20年以上も続けられてきた宝塚ファミリーランドにおける「鬼太郎のイベント」が行われないそうです。と、云う事は、肝心の水木しげる先生サイン会も行われません。メインとなる２つの企画が今年は無いと云うことで、スタッフ一同、最後の最後まで悩みました。そして、参加者の減少が予想されるでしょう。

「しかし、やはりイベントはやろう」と云う事になり一人でも多くの会員の方に参加して頂けるよう無い知恵を絞り色んな企画を考えました。

1. 参加者全員に特別プレゼント！

●水木しげる先生直筆による特製サイン色紙（宝塚でもらえるサインよりイイゾ）

●水木キャラグッズ　他

2. 特別限定商品販売

●通信販売でもコミケでも手に入れることのできないイベントだけのオリジナル商品の販売。

3. 怪奇映画大会

●上映作品はまだ決まっていませんが、鬼太郎や悪魔くんのような水木作品と、怪奇映画を上映します。自主製作ビデオもおまけ上映します。リクエストも募集します。

4. オプショナルツアー実施

●折角関西に来たのだから、スタッフと一緒に関西名所めぐりをしましょう。時間の都合上、一度にたくさんは無理でしょうから８つくらいコースを考えております。尚、これは別料金となり参加費には含まれていません。自由参加ということで当日御本人に決めてもらいます。

5. 他、レクレーション充実

●好評オークション、水木編、特撮編、アニメ編、豪華３本立て

●肝試し復活！　今回は本当に怖いゾー

●汗をかいても心配無い。温泉ツアー有り

●他にも妖怪バラまきクイズ、妖怪カルタ大会、風船バレー大会など…

★本当に、参加して後悔のしないイベントになることは間違い有りません。夏休みですし多くの参加をお待ちしております。年に一度の恒例行事ですので盛り上げましょう。

✂キリトリ線

参加申込み用紙

氏名		会員No.
住所　〒　　－		☎電話番号　　－　　－
参加費　為替同封・当日精算	集合場所　①新神戸駅　②神戸駅　希望時刻　午後　　時　　分	
♡血液型　　型	♨温泉ツアー（別料金）　参加・不参加	オークション・即売会持込み　有・無

開 催 日／平成6年（1994）7月23日（土）～24日（日）
開催場所／神戸市立若者の家
神戸市中央区神戸港地方ロ一里山1番地の132 ☎（078）341－2221
参 加 費／お一人様3500円（集合場所から現地までの交通費、宿泊費、23日の夕食、24日の朝食、他等が含まれます）
申込み方法／申込み欄に漏れなく記入の上、7月15日までに参加費分の無記名郵便小為替を同封し送ってください。尚、参加費は当日精算も承ります。（とにかく、お早めに申込みだけでもお済ませ下さい）
集合場所&集合時間／今回も集合場所は2ヶ所で行います。申込み欄に御都合の良い方を記入して下さい。
①新幹線・新神戸駅〔お待たせ！桶－OK－〕前
・午後1時(遠方より参加の方、御利用下さい。水木伝説のTシャツを着たスタッフがいます。)
②JR神戸駅・改札口前(JR三の宮駅から西へ二つ目の駅。快速電車・普通電車が停車します。)
・午後1時30分
どちらも時間厳守です。万一、集合時間に遅れた場合でも点呼や説明などをしていますので、大体30分くらいはおります。少しくらいの遅れなら慌てずに来て下さい。それよりも遅れた場合は、現地（若者の家）に電話して下さい。
*また、どちらの集合場所にも該当しない場合（飛行機などを利用して来られる参加者など）、ご連絡下さい。ご相談に応じます。（申込み欄に記入されても結構です。）
注意事項／① 集合場所に着いたら…（JR神戸駅&新幹線・新神戸駅）
・スタッフが点呼を取りますので、名前を言って下さい。（参加費当日精算の方は、この時に支払って下さい。）
・スタッフの説明を良く聞いて、スタッフの指示に従って下さい。
② 若者の家では…
・水は貯水したものですから、絶対に生水を飲まないで下さい。飲料水は当方の用意したものを飲んで下さい。水筒を持参されても結構です。
・夜は冷え込みます、長袖の衣類を一つ用意しましょう。
・食事の合間の時間に、お腹の減る人はおやつなどを持参されても結構です。ゴミなどはスタッフの指示した場所に捨てて下さい。
・若者の家には管理人がいます。管理人の指示には従わないで下さい。それは、1昨年のイベントで参加者を晩酌に付き合わせ、酒に弱い参加者が急性アルコール中毒になり大変なことになった事がありましたので。また、少し変わった人なので無視しましょう。
③ 最低限の節度と常識は守りましょう。守れない方は退場してもらいます。これまでの開催で、そのような事態はなかったのですが、まあ仮の話です、仮のね。
④ イベント開催中に体調などを悪くされたら、近くに居るスタッフに申し出て下さい。無理して辛抱しないように。
⑤ 詳しい案内は、後日参加者のみに送付致します。

⛩オプショナルツアーは参加しますか？　参加する・不参加・場所による（　　　　　　　　）
卍あなたを妖怪に例えると？
近況など自己紹介をお願いします



今月の鬼太郎情報 プロム'94.4月

ニットーの妖怪系図シリーズ
5月 再販!! らしいぞ!!

各1200円

鬼太郎・ねずみ男・砂かけ
鬼太郎妖怪獣 破龍編、森林大合唱編
河童列伝・ざしきわらし、小豆洗い、ろ泣き爺

〒176 東京都荒川区荒川4-27-21. 童友社、
☎03-3803-4747
情報提供：TEC-MACのスタンリー古城クン。

●いや、タイ米は旨いよ。
●前々号最後のコーナーでMSXを間違えられていた事にダリャー氏憤慨。（彼はMSX保存協会いつかはMSX2+ターボR会長である）
●7月は又スタッフ一同大変なことでありましょう。
●ダリャーが「ポコ・チンカーベル・ダリャーに改名」



鬼太郎のアニメを特集

えー、前回の前振り通りアニメ版鬼太郎特集であります。一応言っときますと当初より特に原作以外の物のを特集する様にとの命を受けております。別に原作に興味が無い訳ではありません。念の為。まあそんな訳で遂に鬼太郎のアニメ特集ですが何分本数が多いですし、どういった基準で選抜するか等々ある訳ですが、まあ、前回の前フリの基準で行きます。とりあえず1、2、3作（昭和43、46、60年版）ではまず原作に似た作画はありません。
ただ、脚本や演出、ムードや雰囲気といったことが似ていたのはあったかも知れません。アニメ的な出来、作画で行くと、1、2作目ではこの人だから上手い、というのは皆無で、各作画監督の画風がどうとかそういうレベルには達して無いのが実情です。
（たまに上手いのやこれとこれは絵が似ているというのはありますがほとんど関係ない様です）
3作目ではある意味で売れっ子の作画監督が何人も現れたかも知れませんがあくまでミーハー好みするタイプばかりで、やはり真に実力でいうとキャラクターデザイン担当でもある兼森氏のみが上手いと言いを得ざるない様です。氏の得意とするいかにも人間臭い、日本人っぽいディフォルメは正に水木先生と共通する点でありましょう。
そして私も大期待であった、コロムビアの「妖怪画談」。通算では実質アニメ版4作目でありますが、とりあえず作画としては水木先生の作画そのままでありました。欲を言うともっと動くシーンを多くして欲しかった気がしますが。あと、配色も目新しいものがなかった気が歪めません。出来はさほど悪くないので、こういっても酷ですが、一度見て、二回目見ようという魅力は…無い（短すぎて内容が希薄すぎるからで作画の問題ではない気がする）まあ、後、気になるのは全作品とも配色が水木先生の原作のものと異なる。本来水色の学生服が全作品紺色であった。つまらん事ですが皆さん気になってたでしょう。
　作品全体の出来では旧作は古い割に現在でもＴＶシリーズではあまり例を見ないような手の込んだ技術を使った秀作がごくたまにあった。新作では兼森氏がらみの作品が実にキラリと光る逸品でありました。さて、ここでほとんど多〜くの女性ファンに嫌われた新キャラクター、ユメ子ですが水木先生にはいたって好評だったようです。後、ロリコンアニメお宅にも人気があったことは当時のアニメ雑誌の記事からも伺えます。

てえもん 24号 R.B.F.さとう



では、当時のＴＶマガジンＤＸの水木先生の記事を使ってズバリ・水木先生の追求する、〈アニメ版3作目の特集誌であった〉

鬼太郎アニメを考える!!※上記誌よりインタビュー記事の要点抜粋。



「色が強すぎる。もっと素直な色にして下さい。その点、風の谷のナウシカは上手い。ユメコはあのままでいいでしょう。彼女がいないとむさくるしい奴ばかりですから、鬼太郎の世界は。」

➪落ち着いた色使いが好きだった!!

「だるまなんかすごく良かった。シナリオから演出。音楽の入れかも上手かったです。」

➪コミカルな作品が好きだった!!

「ぶるぶるも良かった。温泉を舞台にしたり、上手くやってましたね。演出がいい。後、見上げ入道も中々でした。」

➪色気も必要だった!!

「幽霊電車は一寸首を傾げてしまいます。だって、冒頭から悪人の回想から入ったら、その後、彼らが幽霊電車でどんな怖い目にあっても、視聴者は、どうせ助かるんだからと思って、気に掛けてくれませんからね。」

➪怪奇作品としてのスリルとサスペンスが基本だ!!

後、あかなめはもう一工夫欲しかった。昔描いた原作が公害を扱ってたからといって、あのままではね…。

➪単純な展開はいかん!!

オベベ沼の妖怪は一寸美しすぎるんじゃないですか。あまり正しすぎては子供はかえってしらけますよ。」

➪シュールさも必要だ!!



「特にストーリーのところで言いたいのですが、もっと面白いものができてもいいじゃないかと思います。テーマとかは二の次でも、とにかく面白くして下さい。四本に一本は、私でさえビックリするように原作を面白くアレンジしてくれてますが二本は首を傾げる話だし、一本は、はっきり言って改悪です。

➪とにかく面白くなくては意味がない!?

視聴率がいいとか、人気があるからと安心した時に思わぬ落とし穴が待っているのがこの世界です。」

➪手を抜くなかれ!!

「世の中、甘くはない訳ですから、誰でも仲良くなれるという話ばかりを納得するほど、子供はおめでたくありません。

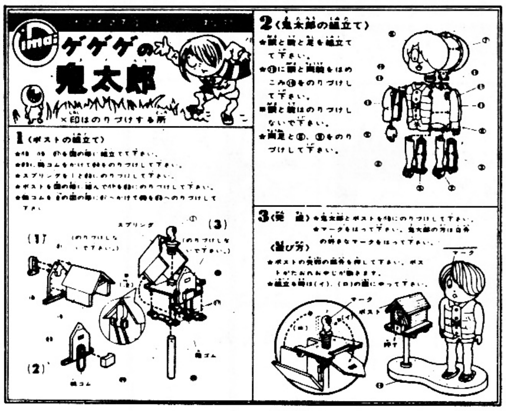
➪現実みも必要だ!!

又、テーマだとか、文明批評とかを前面に出しすぎると、話が段々おかしな方向へずれて行く危険性があります。」

➪地道な内容と基本的な脚本の面白さ、身近な主人公たちの生活描写が重要か?!

と、言った具合になりましたが如何なもんでしょうか。あくまで売れる、又は子供に人気の出る、と言った制作側の配慮に基づいたニュアンスの御意見であった気もしますが、とにかく一度、総責任者の言う通りにやってみたらどうでしょうねぇ。　5/2

柳葉氏のお蔭でウラが取れました。
私はあと祔すましが無いっス。
妖怪系図シリーズはその後のラインナップを続々発表してましたが結局キット化されなかったのが多かったですね。
でもあの頃はよくあった。ＨＪの前面広告でお詫びとか。
とりあえず旧アニメ版の頃のキットの資料が少し出てきましたので載せておきます。



この他にもマスコットの鬼太郎や妖怪自動車のキットもあったらしい。　このねずみ男はヒゲがナイロンひもだったそうだ。
恐らく百円前後の物だがこの頃のキットは結構色プラの様になっており、出来が良かったようだ。（こっちがイマイだったのね）
鬼太郎のギミックは近年の物より凝っている。

　いやー、フハッ番外・水木ロード特集、カッコイー。
実写特集予告まったく反応無し！と言う事で忘れましょう。当面。　とりあえずテープは応募あったらしいので救いですな。
いや、武内君偉いな。ちゃんと同人誌とかも書いてて。ダリャーが激怒してたよ。レポ漫似すぎてると。「ひどいよ、武内君」
ときにダリャー（ゲーマーである）と鬼太郎のゲーム（ＦＣ１、２、ＳＦＣ版）を全部解いて攻略本〔鬼太郎三昧〕を出そうと言いつつまだ解けてません。（やってません）
とりあえず何とかビデオだけでも作りたいと思ってます。７月には少しでも作っときます。

でえもん（当面）改めＲ・Ｂ・ファンキー佐藤



次回アニメ&バンダイプラ特集。第2弾

妖怪退治は鬼太郎ちゃんにお願いしたい。

子供のころ夢中になった妖怪漫画

No.165　吉田ママ
（イラスト吉田良恵）

私にとって妖怪漫画と言えば、やっぱりマガジン版『墓場の鬼太郎』！
でも他にも忘れられない作品がいっぱいあります。
そこで、今回は水木作品を意識してると思われる３作品をご紹介します。

☞鬼太郎と間違えられる猫目小僧



楳図かずお『猫目小僧』より

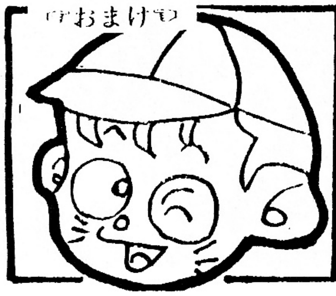
☞戦国時代の「どろろ」も
水木しげるを知っている!?



手塚治虫『どろろ』より

マガジン版『鬼太郎』とほぼ同時期の1960年代後半（だと思う。私が少年漫画を読んだ時期は限られているので。初出を知ってたら教えてね）に連載されていたのが、手塚治虫の『どろろ』と楳図かずおの『猫目小僧』。どちらも妖怪退治という点では、鬼太郎のお仲間なのですがが、とにかく物語りがクライ、せつない。（でもストーリーテリングは抜群にうまくて面白いよ。念のため。）親には捨てられ、その怪異な風貌から人々に忌み嫌われる主人公たち。傷だらけになって妖怪退治をしても、感謝すらされることはないのです。これは、父親の愛情をたっぷり与えられ、人々と友好的な関係を保ち、さらに心を通じあえる妖怪仲間を持つ鬼太郎とは対照的です。それに鬼太郎は事件が起きてからやって来るのですが、百鬼丸（『どろろ』の主人公）と猫目小僧は彼らが来ることによって事件が起こります。（たまたま行く先で事件が起きるだけなんだけれど）個人的には百鬼丸も猫目小僧も、外見も含めて大好きでしたが、彼らにまつわる不吉な影をとても恐ろしく思ったものです。だからもし、自分が怪奇な事件に巻き込まれたとしたら、妖怪退治はやっぱり！！鬼太郎ちゃんにお願いしたいと思うのでした。

おまけ



怪物くん（藤子不二雄）
怪物界のプリンスで、妖怪退治はしない。
鬼太郎の敵であるドラキュラ、フランケンシュタイン、狼男は彼の下僕。





藤子不二雄『怪物くん』より

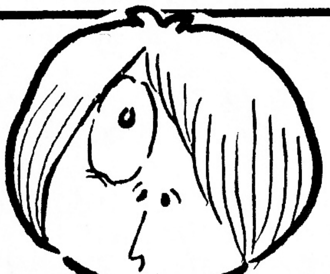
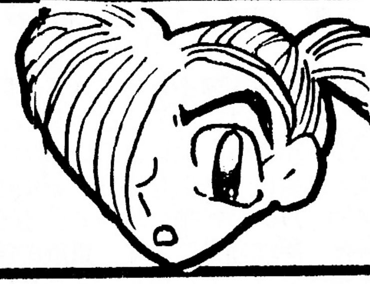
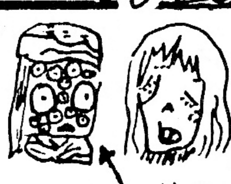
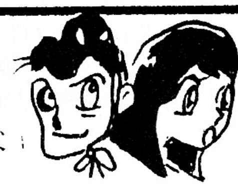
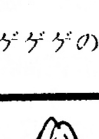
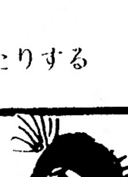
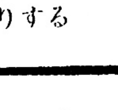
藤子不二雄の漫画では異界の生物（ドラえもん、オバＱなど）が人々に素直に受け入れられています。この『怪物くん』も上記の２作品よりも鬼太郎的と言えるかも知れません。

よく知らない人のために

妖怪漫画・早わかり表



知らない人はお馬鹿ちゃーんっイエイ！

	鬼太郎（水木しげる）	百鬼丸（手塚治虫）	猫目小僧（楳図かずお）
			
種族	幽霊（人間モグラ）	人間	妖怪
ストーリー	省略	魔神と契約した男を父にもつ百鬼丸は、生まれながらに身体の４８カ所が欠けていた。そのため川に捨てられるが、幸いにも医者に拾われ大切に育てられる。しかし、成長した百鬼丸は妖怪につけ狙われはじめた。医者に作ってもらった刀を仕込んだ義手をたよりに、百鬼丸は旅に出る。	猫又の子として生まれるが、人間に似すぎていたため、できそこないとして捨てられる。育ての親である人間の女性は、妖怪の引き起こした洪水で死亡。ひとりぼっちになった猫目小僧はあてのない旅に出る。
幼少時			
両親	 死んでしまった。 父 母	 父 母 捨てられるが後に会える	 父 母 捨てられたので会えない
育ての親	 同一人物	 寿海（医者）	 美々（人間）
得意技	毛針、リモコン下駄など	刀でひたすら戦う	猫ひっかき
妖怪退治の目的	正義感のかたまりなので、困っている人たちをほっておけない	妖怪をたおすごとに、魔神にうばわれた肉体の一部がとりかえせる	旅先で怪奇な事件に巻きこまれ、自分の保身を主な目的に、しかたなく妖怪退治をする
その結果	「鬼太郎さん、ありがとう。」と感謝される。鬼太郎をたたえるゲゲゲの唄がひびきわたる	感謝されない。逆に追い出されたりする	感謝されない。石を投げられたりする
仲間	連載のたびに増えていく 	本人は男だと思っているが、実は女の子。→  どろろ	そのへんにいる猫たち 

コミックタウン おっさんの ずっこけ紀行日誌　PART1

出雲と宍道湖と境港 小泉八雲は妖怪をみたか！ 水木しげるロードを駆け巡る旅

このたび コミックタウンのカタログ情報誌を刊行するにあたって 情報ネタはないもんかいなーといろんなことを考えたが もともと無精なおっさんが悩んでも 解決策があるはずがない それならばいっそネタを作ればとおもい単細胞経薄人間は さっそく米子へと向かったのであった ジャジャーン！ （ホンマ単純やなー）

ここでおっさんは やっとこさ重大なことに気がついた おそれおおくも このかた何十年も文章 もとい作文などというものは おっさんの人生において 必修科目に入っていなかったことに はたと気がついたんや

というわけで乱文 乱筆 乱顔 乱腹 郵便ポストが赤いのも 電信柱が高いのも みなごめん

5月11日 おっさんは中国縦貫道から中国勝山をへて米子道にはいった （米子まで直通やったとは！）

岡山三湯のひとつ湯原温泉 大山を通り抜けるとそこはラフカディオ・ヘルン 小泉八雲の世界があった 夕暮れせまる宍道湖の夕凪（ゆうなぎ）が 俺の心をむしょうにしめつけられた ジャジャーン！ （勝手にせい！）

さて話によると小泉八雲が「怪談／耳無し芳一」を紹介したのはあまりにも有名だが これに似た話はほうぼうにあり 耳切り団一とか 耳切れ雲一とかいう名前になっているそうであるが さだかではない

八雲の話は 平家琵琶の名手芳一を 侍が迎えにきて 貴族の館で 演奏させられる これが平家一門の霊で芳一が墓場で琵琶を弾いているのを僧が発見 その身を守るために 身体中にありがたい経文を書いてやるが 耳にだけ書き忘れたので 耳をもってゆかれたという この有名な話は 八雲の聞いた材料は 赤間ケ関の阿弥陀寺の話となっているそうな

米子に着いて 宍道湖に落ちていく洛陽をみていると ふと小泉八雲が語りかけてくれるようなロマンとノスタルディーを感じさせてくれる （残念ながら 妻子もちのおっさんは出雲大社からの お誘いはなかった）

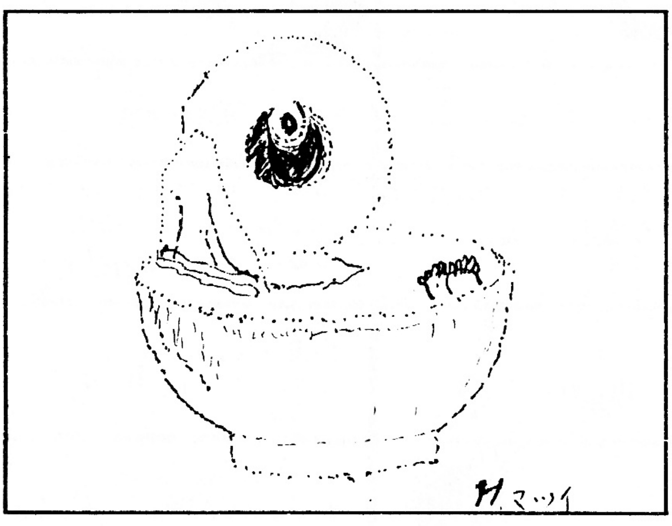
5月12日 怪奇温泉 もとい皆生温泉で一泊したおっさんは 車で約２０分の境港へと到着 境港は漁獲量が日本一というおっきな看板があり 海産物センターには観光客がわんさかと群がって 鯛や平目や甘エビと たのしいだんらんにふけっておりました 中海の方へとハンドルを切って アーケードの着いた商店街をとおり アーケードの終わりから うわさの水木しげるロードがそこにあった！ おっさんはついに着いたのだ しかしひと一人歩いてはいなかった 日本海の泥の空はいまにも雨が降ってきそうだ と思ったとたんに・・降ってきた 目の前にはなぜか 雨ふり小僧のブロンズ象があって ケタケタと笑っていた 「こんちくしょう！」とおもったがよくよく考えてみると 水木しげるロードには 雨が一番よく似合う道である 「なんて素敵な日にきたのだ！」と開き直れば ゲゲゲの鬼太郎も 目玉おやじも ねずみ男も 油すましも笑いかけているように見えた

おっさんは当然の如く テレホンカード ねずみ男耳かき Tシャツ ワッペン 純米吟醸酒 鬼太郎ボトル 境港商店街サービスカード などなどを買いあさった グッズ店は一軒だけあったが 駄菓子やさんにも カメラ店にも 酒屋にも売っているが その店オリジナルのテレカやグッズも置いてあるので ３００M程のロードだから 一店舗に絞らず ゆったりした気分でいろんな店を 探索したほうが懸命であろう

水木しげる先生についても語りたかったが 単細胞軽薄人間の私が語れば アラがでるだけなのでカットし ひとまずはこのあたりで・・・・

交通　神戸 ── 境港　鉄道　４時間＜新幹線－伯備線経由＞　飛行機　６０分
自動車　３時間３０分　＜中国自動車道経由＞

水木しげる公認ファンクラブ に 入会しませんか！



↑No.１３１　松井秀彦

● 日本の漫画家としてはベスト３に入り妖怪 怪奇漫画家としては 間違いなく一番！

● 『水木しげる』先生の全ての作品を愛し 研究をする団体で 超マニアの方から初心者まで「立派な水木しげるファン」といつでも大歓迎いたします

入会資格は 水木しげる先生の創作活動をこよなく愛し ファンであることを 誇りに思い 他人に迷惑をかけないことが原則です！

●サークルの具体的な内容 および入会金 年会費について詳しいお話は 下記へ連絡して下さい

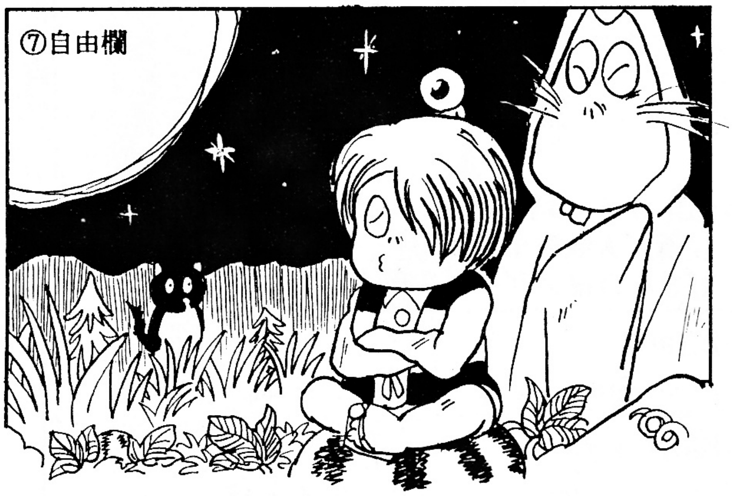
入会＆詳細御希望の方は ８０円切手同封の上
〒６５４－０１
神戸市須磨区北落合３丁目２８－２１７－７０９
馬場方 水木しげるＦＣへ

★新入会員紹介

§様々なルートから、水木しげる公認ＦＣの存在を知り、新しい仲間が増えています。今回もたくさんの新入会員が入会されました。中でもNo.188 槇下さんは水木伝説初の沖縄会員。これで全国制覇だ！そして最年少会員を更新したNo.194　関克彦くん、何と６歳です。水木しげる先生のファン層の広さを改めて認識しました。

No.１８６　武田　春果
住所／東京都中野区
好きな作品／河童の三平（貸本版）

⑦自由欄



No.１８７　我妻　信
住所／長野県飯山市
好きな作品／

⑦自由欄
森羅万象、終ての怪異をこよなく愛し、日夜研究を続ける唄って踊れる怪奇愛好家。
又音楽鑑賞・石仏探索・模型製作・ギター演奏・生物観察・彫塑　等、その趣味は巾広い。

No.１８８　槇下　忍
住所／沖縄県中頭郡
好きな作品／ゲゲゲの鬼太郎

⑦自由欄
はじめまして。P.N.うに丸です。水木まんがとの出会いがTVアニメの「鬼太郎」「悪魔くん」だった私ですが、他の作品も大好きです。ぬるいファンですが、どうぞよろしくお願いします。



No.１８９　長尾　憲
住所／埼玉県福岡市
好きな作品／ゲゲゲの鬼太郎

⑦自由欄
浜松在住の伊東俊介さんより紹介していただきました。フハッ

No.１９０　佐藤恵津子
住所／神奈川県平塚市
好きな作品／鬼太郎夜話（全）

⑦自由欄



No.１９１　木村　浩子
住所／岡山県和気郡
好きな作品／ゲゲゲの鬼太郎

⑦自由欄
初めまして。この度入会することになりました木村と申します。今20才ですが水木先生は小学校のそれこそ低学年くらいの頃から大ファンで、友達と一緒に妖怪ポストを探しに行ったりしていました（笑）。ちなみに今岡山では「ゲゲゲの鬼太郎」のアニメ（昔の方の）を再放送していて、やった!!とばかりに毎日ビデオにとっています。（リメイク版よりも昔の方のが好きなので）
こんな私ですが、どうぞよろしくお願いします。

No.192 出口　寛泰
住所／三重県桑名市
好きな作品／ゲゲゲの鬼太郎

⑦自由欄
僕は水木しげる先生のおかげで妖怪の存在を知り、約二十五匹の妖怪と出会うことができました。
そして今回はこのファンクラブに入り水木漫画のすばらしさを知りたいと思います。

No.193 大林　玄洙
住所／兵庫県神戸市
好きな作品／ゲゲゲの鬼太郎

⑦自由欄
メンバーの桜井秀彦氏の紹介でファンクラブを知りました。
よろしくお願いいたします。



No.194 関　克彦
住所／鳥取県西伯郡
好きな作品／ブルートレイン・おばけ号

⑦自由欄
ぼくは しょうがく いちねんせいです。
ぼくの いえは ふるい いえなので てんじょうなめや
やなりが でます。
きたろう に きてほしいな。 そして きたろうと
ともだちになりたいな。
一代筆一

※子供なので 母(琴美)が
責任者となります。よろしくおねがいします。

－4－

No.195 増田　茂樹
住所／大阪府東大阪市
好きな作品／ゲゲゲの鬼太郎

⑦自由欄
幼い頃、水木先生の作品を通して妖怪に興味を持ち、また、水木先生の書かれる作品の大ファンになりました。
そこで今回、水木先生公認のファンクラブがあることを知り早速入会しようと思いました。これからどうかよろしく。

◆水木しげる情報◆

Shigeru Mizuki inteligence '94 Summer

多分、会員の方の中には「ろくろ首」のように首を長くして待っておられる方もいらっしゃると思います『ゲゲゲの鬼太郎の大秘密』の第２弾ですが、昨年末発行を目指していましたがスタッフが不足という言い訳もありまして、「あと少し」の原稿が仕上がりません。出版社の松文館様にも大変迷惑をかけているのですが、取敢えず保留という形になりました。本当に原稿はあと少しなのですが、また何らかの形で発表したいと思います。さて「水木しげる情報の逆襲」。今年はジャイアンツが強いですね、ええ関係の無い話から入りましたが「黒夢」は中々良いと思います。（関係の無い話題はボツということで）　さて、気をとり直して好評連載陣の紹介から。

★水木しげるの憑物百怪(学研・月刊ムー－毎月1日発売)
★ゲゲゲの鬼太郎ふしぎ話(講談社・テレビマガジン－毎月1日発売)
★週刊朝日百科『動物たちの地球』『水木しげるの幻獣劇場』
★週刊ヤングジャンプ『世界妖怪大全』
★小学館・「ビッグゴールド」(毎月28日発売)の『妖怪変化シリーズ』
★小説・歴史街道『妖怪・土俗神失われた世界』

アート

8/1

現代に蘇った「百鬼夜行」

——２つの「妖怪展」が開催中

暗闇があまり見当たらなくなった当節、そこに生きる妖怪には不幸な時代だ。とはいえ、妖怪は人間の意識の暗闇に巣くうものでもあるから、その根は絶えない。お盆も近く、お化けや妖怪がばっこする季節。折しも「妖怪展」（川崎市市民ミュージアム）と、「水木しげると日本の妖怪展」（日本橋・三越）が開かれている。（松村寿雄）

市民ミュージアムの「妖怪展」の導入部が、なかなか凝っている。

トイレ風のドアが四つ並んでいる。その一つを開けると、落書きがしてある。

「体育館でバスケットをしたあと、ボールを片付け扉を閉めて帰ろうとした。誰もいないはずなのに、中でまだボールをついている音がする。不思議に思って覗いてみたら、首のない人間が自分の首をボールのようについていた」

HK小学校に伝わる怪談「生首のバスケット」…。

このところ、「学校の怪談」が注目されているのだそうだ。本展の専門委員の一人、宮田登氏（筑波大教授、日本民俗学専攻）によれば、民俗学者による本格的な研究が始まっていて、すでに十五冊のシリーズが刊行されているという。

小学生の鋭敏な感受性が大人がすでに見失っている未知との遭遇に対し、見えない世界をビビッドに顕在化させようとする、というのが宮田氏の説だ。





㊤葛飾北斎「百物語・お岩さん」（神奈川県立博物館蔵）
㊦「百鬼夜行絵巻」（＝部分　重要文化財　大徳寺真珠庵蔵）

民衆と共生してきた日本の〝お化け〟たち

次の暗い部屋に進むと、まだ手に持っていた美術館入場券の半券に印刷されている「百鬼夜行」の文字が橙色に光ったので、びっくりした。印刷に使われている蛍光塗料が、部屋の特殊な照明に感応して光るのだと、五年ほど前から本展を企画してきた学芸員の湯本豪一氏が明かしてくれた。

まずは、そんなプロローグがあって、明るい展示場へとたどり着く。

室町時代の有名な「百鬼夜行絵巻」（大徳寺真珠庵蔵）は、妖怪たちの陽気なパレードだ。歌麿、国芳、北斎、さらに幕末から明治にかけての川鍋暁斎や月岡芳年らの浮世絵、版本や風刺画と結びついた瓦版、さらにカルタや双六と続き、はては「人魚のミイラ」なるものまで登場する。

総じて、ここに現れる日本の妖怪たちは、親しみやすくて、愛くるしい。

暁斎の「化物嫁入絵巻」など、見合いから結納、三々九度、朝日が昇って化け物たちが退散するまで、抱腹絶倒の楽しさだ。

この「嫁入絵巻」の所有者は、川崎市市民ミュージアムの学芸員として特に漫画や風刺画の分野に力を入れてきた湯本氏である。ほかにも、湯本氏のコレクションから数点が出品されている。

「もともと妖怪には興味があって、機会あるごとに集めてきました。妖怪画には、暗闇や社会不安の中から生まれてくるという要素が抜きがたいけれども、日本の妖怪は古来、器物に命を宿らせた付喪（つくも）神とか、人間と対立せず、人間と共生してきたようなおおらかさや愛らしさがある。そこにひかれます」

本欄の連載「江戸とバロック」の執筆者、辻惟雄氏（国際日本文化研究センター教授）も日本の妖怪画の権威で、今回の「妖怪展」の専門委員でもある。

「日本の百鬼夜行絵巻の基となった中国の原典は、おそろしいもの。それを手本にしながら日本の画家は妖怪を身近なものへと引き付け、ユーモアでまぶしてしまう。時には愛らしいといっていい。日本絵画の民衆的な性格でしょう。これを、日本の妖怪画の〝陽〟の部分とすれば、幕末から明治期にかけ、西洋のリアリズムの手法を取り込んだ北斎や芳年が〝陰〟の部分を形成する。北斎には、まだユーモアの風味があるけれども、芳年の妖怪画は、おどろおどろしい」

最後に辻氏は、いう。

「古今東西の妖怪を一堂に集めた〝妖怪大全〟を、どなたか、まとめてくださらないですかね」

「妖怪展」は、水木しげるをはじめとする現代の漫画、夜の異界を撮り続ける写真家、内藤正敏のモノクロ作品…そして現代の暗闇の中のグロッタ（洞窟）を思わせるインスタレーションで締めくくられる。

◇

「水木しげると日本の妖怪展」のほうは、題名通り水木氏の妖怪画を中心にすえた企画だ。水木氏は、昨年から今夏にかけて岩波新書のカラー版で正統の「妖怪画談」を刊行し、妖怪ブームに火を点けた張本人。市民ミュージアムの「妖怪展」の方の専門委員も兼ねている。

子供のころから〝妖怪〟が大好きだったという水木氏は今、日本、中国、韓国の妖怪たちが、どう関係しあっているかを調べることに熱中していて、とりあえずの成果が正統の「画談」に示されたわけだ。このうえは、三国に限定せずに、ぜひ欧米にも足を運んで、「世界妖怪大全」を完成してもらいたいものである。

「妖怪展」は29日まで、川崎市中原区等々力・川崎市市民ミュージアム＝☎044－754－4500＝で、「水木しげると日本の妖怪展」は、8日まで、東京・日本橋の三越で開催中。

なお、川崎市市民ミュージアムでは会期中、「妖怪映画特集」（7、8日）、水木しげる氏、宮田登氏らが出席する「妖怪トーク」（14日）も開催される。

出版物

◇悪魔くん・ノストラダムスの大予言－世紀末編－

・辰巳出版刊 好評発売中。￥９８０

怒涛の長編、遂に完結。このボリュームでこの価格はハッキリ言って安い！

◇『幽霊画談』

・岩波書店 6/20発売予定

御存知『妖怪画談』のシリーズ。カラー版・画集はうれしい。

◇『妖怪大全』

・講談社文庫＋α 6/20発売予定

◇テレビマガジングレート百科２８『妖怪ふしぎ図鑑』

・発売中　￥６８０

そして、この夏には、水木先生の伝記が３冊発売される。一つは以前からお知らせしている足立倫行さんの『水木しげる伝』昨年夏のイベントでのレポートが如何なる形で発表されるであろうか？今から不安である。更に扶桑社から２冊。その内一つは、水木先生の冒険譚になるという話である。

✂プラモデル

『フハッ』でも柳葉蛙さんが毎回特集している『日東プラモデル情報』ですが、絶版キットのシリーズが、この度「童友社」から再版されました。再版されたものは『河童列伝』『ざしきわらし』『こなきじじい』『呼子』『ねずみ男』『鬼太郎・合唱編』『砂かけ婆』『鬼太郎・妖怪獣編』の８種類です。価格は当時の２倍になって１２００円ですが、再び絶版になる前に２個つづ買っておきましょう。

情報提供＝柳葉蛙、佐藤秀之

タウン TEMPO

週刊宝石

300万円の値が付く「中古マンガ市場」の過熱

それとは気付かずに押入れに眠っている「資産」が、あなたにもあるかもしれない。それは金塊や宝石ではなく、マンガだ……。

東京・渋谷にあるマンガ専門店『まんだらけ』の一角、中古マンガのコーナーを覗くと、「一万円」「五万円」という値札が目に入る。マンガの古本に付けられた値段なのだ。こうした高値で取引されるマンガの特徴は、有名な作家が無名時代に描いたもの。

例えば故手塚治虫の初期作品『大都会・メトロポリス』が六十万円。同じく手塚の昭和二十六年の作品『ジャングル大帝』が全二冊で五十万円。手塚治虫、石ノ森章太郎、横山光輝、水木しげるなどが人気だという。そして藤子不二雄が足塚不二雄の名前で昭和二十八年に描いた『UTOPIA　最後の世界大戦』が何と二百五十万円だ。

「セールでこの値段でしたから、オークション形式にすれば三百万円以上にはなっていたでしょう」

と、語るのは『まんだらけ』社長の古川益三氏。

「この本は現在日本で七冊しか確認されていません。それで値が上る訳です」

ちなみに三冊がこの店にあり、後は本人の藤子不二雄Ⓐ氏と松本零士氏、島根と九州のコレクターが一冊ずつ持っているとか。では、これらの高額マンガを一体誰が買っていくのだろうか。

「皆さん普通のサラリーマンですよ。その証拠にボーナス月に高額本がよく売れます。昔買えなかったマンガを大人になってから手にいれたい、という思いなんでしょう。一種の郷愁ですよ」（古川社長）

高くつく郷愁だ。 To



「捨てずに取っておけば……」

5/14 神戸新聞

ぶらり西国

町おこし

鳥取県・境港市

妖怪にノスタルジー

「ゲ、ゲ、ゲゲゲのゲ」おなじみのメロディーがJR境港駅前のアーケードから流れる。日本海側の大漁業基地、鳥取県境港市の「松ケ枝商店街」。歩道には等身大の鬼太郎やネズミ男、手のひらサイズの妖怪（ようかい）たちのブロンズ像が並ぶ。

「初めは大反対でしたよ。店の前にこんな不気味なものを置かれて」と商店街の板倉博会長(七四)は苦笑い。

マイワシやサバなどの水揚げでにぎわう港。だが商店街は近年、隣の米子市に駐車場完備の大型店が増え、人通りが消えていった。

再生に向け、市都市計画課の黒目友則係長(四五)らが目を付けたのが、同市出身の漫画家、水木しげるさんの人気作「ゲゲゲの鬼太郎」だ。「漫画を知らない大人も妖怪にノスタルジーを感じるはず」



昨年夏、水木さん自鷹の妖怪二十三体を並べた「水木しげるロード」をオープンさせた。狙いは大当たり。関東や地元客だけでなく、京阪神などからも若者や家族連れが訪れ、四百㍍余りの商店街に休日は二千人があふれる。

商店街の意識も変わった。息子に水木漫画の講義を受けて開店したという大判焼「キタロー焼」の茶店。老人会は紙粘土のキャラクター商品作り。「売り上げもそうだが、何よりも地元を盛り上げる空気が生まれた」と板倉会長。

ゆくゆくは外国の妖精らを"招待"し、世界妖怪会議を開く計画も。「かっぱも住めるような境港の美しい自然を、世界中の人に見てもらいたい」。妖怪パワーに乗せた夢が港町に広がる。



▲等身大のネズミ男や手のひらサイズの妖怪たちのブロンズ像が並ぶ「水木しげるロード」＝鳥取県境港市松ケ枝町

※最後に、読者だけの独占情報を…

水木プロで活躍されていましたアシスタントの森野達也様が超円満退社いたまして、今後漫画家として一本立ちいたします。7月新創刊の「MANGA BΦYS」に連載される森野さんの作品はあの人気の高い**地獄童子**が復活します。水木先生と共に応援お願いします。そして、新春3連発の3発目「水木伝説Ⅰ&Ⅱ・鬼太郎総集編」がようやく完成します。本当に予定通りにいかず、申し訳ありません。会員の皆様にもご迷惑をおかけしています。「不親切なサークルだ！」「フハッは面白くない」「タイ米の抱合せは許せない」などと苦情も少なくはありません。到らぬ点は多々ありますがこの場をお借りしてお詫び致します。

水木伝説Ⅰ&Ⅱ・鬼太郎総集編

＊会員割引き価格１０００円（送料込み）おくづけ住所にて受付中。

それからコミケ参加します。コミックマーケット４６　８月８日月曜日"へ"－６８ａのスペースにおります。尚、当日販売のお手伝いをしてくれる方、１名募集します。御連絡ください。

（コミケとは、日本で一番大きな同人誌即売会の名称で、毎年夏と冬に東京晴海埠頭・見本市会場でおこなわれている。）


日本じゅうの少年たちに、夢と希望と感動を贈るニュー・コミックパラダイス!
マンガ ボーイズ
月刊
創刊
パワフル
燃えよ!!少年魂
飛びたて!!
ぼくらのスーパーヒーロー
フハッ
武内タケシ
&
コージリョウ
サマーイベント
参加せよ号

『水木しげると日本の妖怪展』レポート

文責　　竹本 未礼

’９４年２月５日から３月２１日まで、兵庫県立近代美術館（神戸市灘区）で、『水木しげると日本の妖怪展』が開催されました。２月４日の午後２時から、一般公開に先駆けて開会式が開かれました。これに合わせて、水木伝説会長・馬場茂幸氏あてに、式の案内状が参りました。そこで、開会式に水木伝説スタッフ二名が参加したことを報告します。

美術館入口で名札（無記名・ルーペ付き）とパンフレットを受け取って、二階の会場入口に向かいます。入口前は、関係者や報道陣でいっぱいでした。入口横には、森をイメージした模型の中に、見上げ入道の姿が見えます。式は、美術館側関係者と神戸新聞社側関係者との挨拶で始まりました。水木しげる先生についての簡単な紹介や、ペンネーム「水木しげる」の由来など、水木先生と神戸とのゆかりについて話しておられました。

テープ・カットの後は、いよいよ入場です。入口を入るとすぐ、のんのんばあの案内するＶＴＲが目に入ります。おばさんや子供たちは、画面を楽しそうに見ていました。隣には、あみきりや、家鳴り、髪切りの住む屋敷が造ってあります。これらの妖怪は、非常にリアルに出来上がっています。見物客は、その現実感に驚くばかりでした。水木先生の妖怪画は、江戸時代の錦絵や木版画などを参考にしているものが多いようです。今回の展示では、先生の画の元になった作品などがたくさん並べてあります。どれも普通では、なかなかお目にかかれない貴重なものばかりです。これらの妖怪画は、大昔から伝わって来ている説話や、江戸当時に流行した怪異譚を、画で表わしたものです。中でも河童の画は、最も有名なものでしょう。会場でも、特に河童のコーナーが作ってありました。小川芋銭の河童画や、全国河童分布地図などがあり、見物客の注目を集めていました。水木先生の妖怪画の展示も、大賑わいでした。繊細な描き込みと幽美な色彩とで描かれている水木先生の画は、他に類を見ない独自の作品です。鬼太郎やねずみ男の画なども展示してあります。また、貸本時代の先生の単行本や原画なども展示されていて、見物客の興味をひいていました。

出口近くには、水木先生が画の部分を担当なさった紙芝居が展示されていました。この作品も、めったに見ることの出来ない貴重な作品です。見物客には、年配の方がたくさんいらっしゃったので、少年少女期を思い出す方もいらっしゃったでしょう。

今回の展示は、いろいろな幻想がいっぱいありました。水木ファンでなくても、ご覧になった方は、子供の頃にかえった思いがするでしょう。大人になって、私たちは、自然や想像の世界に安住することが出来なくなってしまいました。木々の間にあやしげな影を見たり、暗闇に恐怖を感じたりする時代ではなくなってしまいました。自分の目を疑う隙もなければ、身の回りには、四六時中にぎやかな街がひらけています。

先年、岩波新書から『妖怪画談』（正・続二冊）が発行され、妖怪がようやく社会の認める所となりつつあります。水木先生は、漫画『ゲゲゲの鬼太郎』で、一躍有名になりました。だから、「水木しげる」という名前は、漫画家としてのイメージをどうしても払拭いきれません。民族学分野にも価値のある妖怪に関する先生の著述は、一方で、その評価は高くありませんでした。確かに、学術書専門の岩波書店が、このような企画を世に表した、というユーモラスな点で社会的ブームになったのかも知れません。ともあれ、妖怪の世界に関して、今、一定の評価を確立していることは事実です。

『水木しげると日本の妖怪展』は、日本文化を考えてゆくうえで、重要な役割を果たしました。日本の文化と妖怪の世界とは、密接な関係を持っています。このことが、一般の方々に少しでも認めてもらえれば、こんなに嬉しい事はありません。現代における妖怪の継承者としてご活躍になっている水木しげる先生と、今回の展示主催者、兵庫県立近代美術館、神戸新聞社とに、深甚の感謝を申し上げます。

【付記】筆者の怠慢さ故、本原稿が一号遅れになったことを深くお詫び申し上げます。

▲水木先生の児童書案内

№１６５1/2　吉田良恵

小学館の入門百科シリーズは現在絶版ですが（書店で問合せたところ、現在在庫はありません。また重版の予定もないとのこと。古本屋もしくは売れないボロの本屋をさがしましょう。）、水木先生の児童書は他にも結構あるよーです。で、私がみつけたタイトルを紹介します。

●「アニメ　河童の三平」　金の星社　￥１２００
…さし絵はアニメを流用しています。ハードカバーで低学年向けのおはなしの本です。

●水木しげるの「妖怪１０１ばなし」　小学館てんとう虫ブックス　￥４５０
…入門百科シリーズの「妖怪百物語」と同タイプの本。新書版が分厚くなったような児童向けの文庫です。

●「のんのんばあとオレ」　ちくま少年図書館３７　心の相談室　￥１４４０
…ちくま文庫に収録されているものと同内容ですが、ハードカバーでさし絵も大きいのがうれしい。

おまけ

（アリャマタコリャマタ）
荒俣宏の文庫に水木氏と対談が収録されています。
▼「怪物の友　モンスター図鑑」集英社





水木しげる

フハッ・第３５号

{今回も特集が無かった・特集号}

平成６年(1994年)６月25日発行
表紙／イラスト・米吉和久(鬼太郎の誕生)
ラッキーボーイ／№150 益田貴裕
担当／馬場茂幸、佐藤公紀、米吉和久、吉田良恵、吉田温代、岩松真澄、瀬戸信行、佐々木卓
協力／松井秀彦、影山佳紀、
多謝／水木しげる先生、水木プロの皆様、森野達弥様
印刷／大阪出版株式会社・プリントハウス
制作・発行／水木しげるＦＣ・水木伝説
〒６５４－０１　神戸市須磨区北落合３丁目３８番地２１７番地７０９号室